

# モニュメントバレー

モニュメントバレーはアメリカ原住民ナバホ族の居留地内にあるため、アメリカ合衆国の国立公園にはなっておらず、モニュメントバレー・ナバホ・トライバル・パーク (Monument Valley Navajo Tribal Park) という名称でナバホ族によって管理運営されています。モニュメントバレー・ナバホ・トライバル・パークのビジターセンターに到着すると、先ず目に飛び込んでくるのが、壮大な3つのビュート(岩山)が並ぶ、あの有名なモニュメントバレーの景色です。



多くの観光客はこの景色だけ見て次の目的地へと移動してしまうのですが、モニュメントバレーが最も美しいのは、夕陽で岩山が赤く輝く夕暮れ時と、岩山の背後から朝日が現れる夜明け時。太陽の高さによって

刻一刻と変わっていく景色を鑑賞するためにも、モニュメントバレーでは是非1泊してもらいたいものです。

数十年前までは場所すら詳しく知られていなかったモニュメントバレー。映画やコマーシャルの撮影現場となったおかげで今ではすっかり有名になりました。ここでは先住民族であるナバホ族ガイドの案内で、一般車両乗り入れ禁止区域へ進む「バレードライブツアー」でモニュメントバレーの奥地へ。「**ジョンフォードポイント**」「**スリーシスターズ**」「**アーティストポイント**」「**トーテムポール**」など絶景のポイントにジープでご案内します。



**ジョンフォードポイント**



**トーテムポール** →

← **スリーシスターズ**



## モニュメントバレーのホテル

モニュメントバレー「ナバホ国内」にはホテルが**二つ**しかありません。

今回はその一つ「**グールドイングス・ロッジ**」に宿泊します。

モニュメントバレーが最も美しい夕暮れ時と朝日に輝く絶景をホテルから  
ゆっくりと・・・。

「グールドイングスロッジ」はモニュメント・バレーのナバホ国内にある唯一白人が経営するホテル。1921年にハリー・グールドイングが妻と共にこの地に来て、交易のビジネスを賄う条件でナバホ人から土地を分け与えてもらい暮らしを始めた。1928年にはグールドイング・ロッジが完成、1930年代には積極的に映画のロケ地として紹介、数々の名作を産んだ。当時ジョンフォード監督は、撮影のため長期間滞在していることが多く、グールドイング夫妻の好意で敷地内に小屋を建ててもらい暮らしており、その小屋は現在も保存されている。ホテルには、充実した工芸品店、名物“ナバホ・タコス”が食べれるレストラン、スイミング・プール、博物館もあります。



映画「フォレストガンプ」で一躍有名になったポイントも



朝日

星空

